

広報 トピックス



〈学校給食週間：地元漬物提供〉

全国学校給食週間中の1月28日、地元特産品の漬物を食べ、道内各地の駅から市内小中学校に「七福神漬け」がプレゼントされました。児童たちは、給食のカレーライスの付け合わせとしておいしそうに食べていました。

2月15日と16日の両日、世界的チェロ奏者の藤原真理さんが、かもし岳温泉でチェロコンサートを開催しました。会場に訪れた多くの皆さんは、チェロとピアノの美しい音色に聞き入っていました。



〈藤原真理チェロコンサート〉

2月9日と23日の両日、楽生園で普通救命講習会が行われました。参加した職員の皆さんは、緊急時に備えて、人工呼吸や心肺蘇生法などを学びました。



〈普通救命講習会：楽生園〉



〈神威地区〉



〈本町地区〉

〈消防団員と消防職員による独居老人宅除雪〉

2月20日、消防団の皆さんと地区に分かれ、本町地区と神威地区に除雪作業を行いました。根元から雪を落とすなど、安全に除雪し、避難口の確保を行いました。

会員作品
歌志内俳句会選

初場所のもんどり打ちし大銀杏 佐藤 清子
戦争と距離置く日本冬ぬくし 高瀬 仁孝
あらひ熊檻に逃げ込む凍てつく 吉岡 ゆか
夜 後藤 妙子
女子会の果てし夜道や冴え返る 岡部 康一
卓袱台を温もり溢るおでん鍋 石塚 トキ
夫婦茶碗一人になりし春愁い 須藤 涼子
梅一輪姉美恵の忌に捧げたし

市民の ひろば



「桃の節句」
小松 京子

絵手紙
大沼 きみ
氷柱忌や水かんざし掌に消ゆる
一般作品
勝部 貞子
若き日や帯胸高に針供養



「共に月日を」
田村 イサ



市民のひろばへの作品投稿は、広報情報グループ(☎4253212)までご連絡ください。

うちの子も げんきです



あべ
阿部 このみちゃん
とお母さん



東光三区
お父さん・龍二さん お母さん・ちえみさん
長女(1歳3か月)
お母さんのひとこと

最近少しずつしゃべるようになり、「パパ、ママやって」とやってほしいことを催促してきます。体を動かすのが好きで、テレビでお気に入りのコマーシャルが入ると、音楽に合わせてお尻を振りながら踊っています。女の子らしくかわいい元気な子に育ってほしいですね。



〈第3回高橋揆一郎文学忌永柱忌〉

1月31日郷土館ゆめつむぎで、第3回高橋揆一郎文学忌「永柱忌」が行われました。甥の高橋駿さんによる揆一郎作品の朗読が行われ、在りし日の高橋氏の業績を偲びました。

2月8日、公民館で滝川市図書館主査和田美紀子さんによる絵本の読み聞かせが行われました。参加した子供たちは、和田さんの読む絵本に合わせて体を動かすなど、楽しそうに聞き入っていました。



〈絵本の読み聞かせ〉



〈幼稚園の様子〉



〈保育所の様子〉

2月7日、市内各施設にまはげが参上しました。幼稚園と保育所に現れたなまはげたちは、「泣く子はいねえがー」「悪ガキいねえがー」と叫びながら園児たちを追いかけ、捕まったら園児たちは、泣きながら「いい子にします」「好き嫌いしません」となまはげに返事をしていました。

図書館 だより

☎42~6900

行 事

■移動どうわ会

▼とき 3月10日(木) 14時30分

▼ところ 東光児童館

▼内容 本の読み聞かせ、紙しばい

■移動としよかん

▼とき 3月16日(水)

▼ところ 文珠第二町内会館 (14時30分)

▼とき 3月17日(木)

▼ところ 楽生園 (14時30分)

▼給食センター (15時45分)

▼市民体育館 (16時15分)

読んでみませんか?

『おくうたま』(岩井三四二著)

浅井長政の子、喜十郎は、浅井家が織田信長に滅ぼされた時、12歳だった。いつかは信長を討ち、浅井家再興を夢見る喜十郎だが、異相の医者に匿われ、その弟子として戦場を駆け回るこ

とに……。

『あの頃の誰か』(東野圭吾著)
これまで様々な理由から単行本未収録だった作品をあつめた短編集。

『風をつかまえた少年』
(ウイリアム・カムクワンバ、ブライアン・ミラー共著)

1987年、中学1年生だった著者は、学費が払えず中学校に通えなかった。しかたなく、小学校の図書館に通い詰めた少年が出会った1冊の本。「エネルギーの利用」というその本の表紙にあったのは風力発電の巨大な風車の写真だった。それをもとに少年は自力で風力発電機をつくりはじめる。闇と飢えのない豊かな生活という大きな夢にむかって。

◆その他の新刊◆

『仇討ち街道』(鳥羽亮著)

『天使の報酬』(真保裕一著)

『婢伝五稜郭』(佐々木讓著)

『漂砂のうたう』(木内昇著)

『月と蟹』(道尾秀介著)

『首都感染』(高嶋哲夫著)

『新・野生の証明』(森村誠一著)

『札幌駅殺人事件』(西村京太郎著)